学校番号	1004

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	(学)服飾と手芸	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

手芸に関する様々な知識や技術を習得し，普段の生活との関わりを認識しながら理解を深め，創造的に製作する力を身につけることを目標としています。
授業では、作品の完成に向けて自ら計画を立て作業を行っていきます。休まずに、継続的に製作を進めていきましょう。
ひとつの作品が完成するごとに、自身の作業内容を振り返ります。自分の作品について文章で表現し他者に伝えることができるようになりましょう。

2　学習の到達目標

各種手芸の種類、特徴、技法などに関する知識と技術を修得し、手芸品を創造的に製作し、表現することができる能力と態度を身につける。
【知識及び技能】
手芸に関する様々な知識や技術を習得し，普段の生活との関わりを認識しながら理解を深め、道具を正しく扱い、製作する力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
自らが製作したい作品のイメージをもち、それに適した材料、技法を選択し、手芸品を、創造的に製作する力や、製作した作品を他者にむけて表現することができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
各課題に関心をもち、主体的に作品の製作にむかう態度や、自ら設定した計画に沿って、継続的に作業を進めることができる力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	手芸に関する様々な知識や技術を習得し，普段の生活との関わりを認識しながら理解を深め、道具を正しく扱い、製作することができる。	自らが製作したい作品のイメージをもち、それに適した材料、技法を選択し、手芸品を、創造的に製作することができる。また、製作した作品を他者にむけて表現することができる。	各課題に関心をもち、主体的に作品の製作にむかうことができる。また、自ら設定した計画に沿って、継続的に作業を進めることができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	手芸の基礎知識	手芸の基礎的な技法について 手芸材料の種類と特徴	a:手芸の基礎的な技法や材料とその特徴について理解している。 b:作品に応じた材料を選び、適した技法を選択することができる。 c: 課題に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	行動観察
	基礎的な作品の製作	手縫いの基礎的な技術の習得(ピンクッション製作) ミシンの基礎的な技術の習得(雑巾・ファスナーポーチ製作)	a:手縫いとミシン縫いに関する基礎的な技法について理解し、道具を正しく扱い製作することができている。 b:作品のイメージをもち、それに合った布や材料を選択し、創造的に作品を製作することができる。 c:製作に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	作品	作品 ワークシート	ワークシート 行動観察
2学期	発展的な作品の製作	デザインと型紙の作成 布の種類と柄合わせ 布の縫い合わせ方と縫い代 手芸材料に合わせた糸の選択 (巾着袋・バッグ製作)	a:型紙の作り方や布を合わせ方、糸の選択等に関する知識や技術を身につけ、製作することできている。 b:作品の方向性を決め、創意工夫して作品を製作することができる。 c: 製作に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	作品	作品 ワークシート	ワークシート 行動観察
		パッチワーク、刺繍、刺し子、ビーズ刺繍・羊毛フェルトなどの技法を使った服飾表現 (コースター・フェルトの小物製作)	a:刺繍や刺し子、フェルトに関する知識や技術を身につけ、道具を正しく扱い製作することができる。 b:図案を考え、それに合った糸やフェルトを選択し、創造的に作品を製作することができる。 c:製作に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	作品	作品 ワークシート	ワークシート 行動観察

3学期	自由課題	これまでに習得した技法を用いて、自ら課題を設定・計画し、製作する課題	a:自ら計画を立て、必要な道具や材料を選び、製作することができる。 b:課題の完成に向け、思考を深め、創造的に作品を製作することができる。また製作した作品を他者に向けて表現することができる。 c: 製作に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	作品	作品 ワークシート	ワークシート 行動観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度